

上牧町総合計画等審議会（第5回） 議事録

【日時】令和3年11月9日（火）13：30～16：00

【出席者】17名（中山委員長はWEB参加）

【欠席者】9名（岩脇委員、竹島委員、辻本委員、鐵東委員、遠山委員、中村委員、堀川委員、松井委員、安中委員）

【傍聴人】0名

【事務局】町職員：6名、コンサル：3名

1. 開会

（事務局挨拶）

2. 議題

（1）基本計画（政策「地域活性」「教育文化」）修正案について

事務局：（資料1について説明）

向井委員：5-1について、文化教室とペガサスホールは連携しないので、文化協会等と修正していただきたい。資料3も誤っている。

また成果指標が「婦人・高齢者学級受講者満足度 40%」から「生涯学習事業への参加者数 280人」に変わっているが、根拠が分からない。成果指標「ヒューマンライツセミナーの新規参加者」も不明瞭である。参加者の多くが新規参加者に当てはまるかと思う。

事務局：1つ目のご指摘は担当課と調整を行う。

2つ目について、算出根拠はあるのだが、資料を持ち合わせていないため、次回解説を行う。

3つ目は毎年10人ずつ新規参加者を増やしたいという意図から設定している。抽出方法として、アンケートで新規参加者かどうかを問う項目を追加する。

向井委員：ヒューマンライツセミナーの取り扱いについて、こちらから関係者と話を行う。

青木委員：4-1 施策の展開方向①について、「町内の学校と連携し、」とあるが、具体的にどこか。

事務局：現行計画にもある記述だが、具体的な想定はない。小学校の農業体験を想定しているかと思われる。

青木委員：それなら、「児童・生徒が農業体験のできる機会を作る」などと表現を変えてはどうか。

事務局： 検討を行う。

(2) 基本計画（政策「地域活性」「教育文化」）案について

事務局：（政策「住民福祉」対照表について説明）

（以下、グループに分かれて議論）

A グループ（2-1 保健、2-2 医療、2-4 子育て支援）

渡邊委員：3か月検診は実施しているのか。

事務局：実施しているが記載がないため、追記を検討する。

黒松委員：ほほ笑み教室、つくしっこ教室の違いはなにか。

阪本委員：ほほ笑み教室は就学前児童全体が対象であり、つくしっこ教室は精神面におけるフォローの必要な子どもが対象である。ほほ笑み教室の次の段階として、ペガサス教室（小学生対象）がある。

渡邊委員：2-1 成果指標の「健康上牧 21 の事業の参加者数」は延べ人数か。

事務局：延べ人数として計上している。

東委員：2-1 成果指標の「ほほ笑み教室の満足度」はアンケートで把握するのか。

事務局：利用者アンケートで把握する。現行の総合戦略の KPI を参考に設定しており、総合戦略では4段階の満足度のうち「3」を目標値にしているが、満足度を上げたい思いから見直しを行った。

渡邊委員：検診受診率について、がん検診推進委員会が街頭でビラ配りなど行っているが、がん検診推進事業の行政のバックアップは必要ではないか。④保健事業の充実に記載がない。

事務局：担当課に確認して取組の追記を検討する。該当する取組は④保健事業の充実になるかと思う。

東委員：2-2 の成果指標に「不妊・不育症治療助成事業認知度」とあるが、新しい取組として重視されることになるのか。

事務局：総合戦略でも記載しており、引用している。認知度が低いため認知度向上を目指していく。

東委員：認知度向上のために、具体的にどのようなことに取り組むのか。

事務局：広報や HP での周知を行う。

阪本委員：医療関係の施設でもチラシ・パンフレットを配布している。

東委員：不妊・不育症はデリケートな問題で自覚があっても受診しづらいことがあるため、相談しやすい手立てがあればよいと思う。また、そのような広報があ

ればよいと思う。

事務局：担当課には事務的な工夫へのご意見として伝える。

阪本委員：不妊と不育で助成の金額の違いや回数の違いがある。

黒松委員：2人目や3人目の不育・不妊に悩んでおられる方も多いので、公共・民間問わず施設のベビールームや授乳室にポスターを掲示するなど周知の方法に工夫が必要だと思う。

事務局：担当課にご意見として伝える。

黒松委員：上牧町のHPにチャイルドシートの貸出が1年間とあったが、小学校に上がるまで使用するものなので、1年では足りない。

事務局：町では乳児用のチャイルドシートのみ用意しているため、1年間の貸出しとしている。

渡邊委員：要保護児童対策地域協議会は取組内容に含まれないのか。いじめや虐待に関する協議会だが、子育て支援に関わると思う。こども未来課が関連していると思う。

また教育委員会にもいじめや虐待に対しての取組があるかもしれない。

事務局：担当課に確認を行う。

東委員：子育て支援は声掛けが大切なので、基本的な考え方としてほしい。

事務局：承知した。担当課にも伝える。

渡邊委員：(2-3) 高齢福祉の成果指標に「要介護認定率 20.7%」とあるが、上げる必要があるのか。

事務局：下げる方向で KPI として設定していると思われる。下げることも KPI になる。

渡邊委員：認定できる権利があっても認定を受けない方もいる。そのような人を拾い上げることができればと思った。

事務局：現行計画は人数を減らす指標としていたが、後期基本計画では認定率を下げる指標に変更している。

渡邊委員：2-6 の施策の展開方向②の小地域ネットワークのバックアップに関して、民生児童委員の記載がない。

事務局：担当課にご意見として伝える。

B グループ (2-3 高齢福祉、2-5 障がい者(児)福祉、2-6 地域福祉)

柴崎委員：2-3 施策の展開方向④について、想定される取り組みの内容が薄く、抽象的になってきている。例えば、介護予防にある健康運動を含めるなど、具体的なアクションが必要ではないか。

事務局：生活支援サポーターや認知症に関する取組など、複数項目をまとめてしまったことから、分かりにくくなっている。担当課と相談して記載を検討する。

青木委員：成果指標のシルバー人材センターの登録者数、シルバークラブ会員数、要介護認定者が削除となったのはなぜか。

事務局：担当課いわく、会員数の増加が難しいことから、会員数から設置数に成果指標を置きかえている。

迫委員：シルバークラブは、未設置地区での設置強化を行ってほしい。

青木委員：設置地域数が増えれば会員数も増えると想定されるのか。現在シルバー人材センターが増えているのかも知りたい。

成果指標から成年後見制度が削除となったのはなぜか。

事務局：成果指標に対して評価対象となる取組がないため、削除を行った。

迫委員：2-3 施策の展開方向④について、要介護を減らして要支援を増やす取組を盛り込むべきではないか。

事務局：要介護認定率は今後の増加を想定しているが、町としては増加が続くと財政的に厳しいため、介護予防を行うことが取組方針の前提となる。ただ、必要な人に対しては、認定も必要であるため、適切に認定を行う旨を記載している。

柴崎委員：現在の要介護認定率について知りたい。

事務局：17.2%である。

有江委員：親なき後の問題がある中で、2-3 では成年後見人の成果指標が削除されている。障がい者、高齢者が安心して住めることは地域として必要であるが、地域の受け入れ体制が整っていないため施策が必要であると考えます。

事務局：成年後見人の取組は実施しており、「障がい福祉サービスによる支援体制の確保」に含まれる項目かと思う。総合計画では具体的に出てくる部分がないが、継続して取り組んでいく。

青木委員：2-5 文中の「バリアフリー」は物理的なものを想定しているのか。

事務局：バリアフリーに関する項目は、第3節都市環境(3-5)に移して整理している。

迫委員：2-6 施策の展開方向①について、自治会の活動を記載してはどうか。自治会内が希薄になってきている。自治会活動が希薄化するなか、地域福祉も含めた活動の強化を実施していく必要があり、それに町も協働することが重要ではないか。小地域のトップが自治会なので、力を入れてもらいたい。

事務局：住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みとして、助け合い、ネットワークづくり、環境づくりを各機関と連携をとりながら進めることとしている。担当課と検討を行う。

柴崎委員：地域包括ケアシステムの福祉版のように、福祉分野の住民の困りごとを町が取り次いでくれるようなことはできないか。障がい者、高齢者、引きこもりに対して自治会だけでなく町としても手を差し伸べる、地域ごとに町の担当員を配置して、「障がい者が住む場所がない」、「どこ行ったらよいかわからない」などの相談をつないでくれるような仕組みが欲しい。

また、自治会の月1回の会合に町から顔を出してもらうことで、地域の実情を理解することができる。

事務局：担当課で類似の取組を行っている可能性がある。持ち帰って担当課に確認するとともに、検討する。

C グループ (2-7 男女共同参画、2-8 人権啓発・平和)

大杉委員：「男女共同参画」という言葉について、男女と2つにくくるような表現でいいのか。

事務局：前回の策定時に一般的な単語と選定されたのだろう。

大杉委員：現在のトレンドからみて疑問である。

宮田委員：そうなると新たな言葉を設定しなくてはならない。

大杉委員：5年後までの計画なので、それまで通用するような言葉としなければいけないのではないかと。最近、アンケートなどでも男性/女性/その他とある。

事務局：時代に沿った一般的な表現について、他市町村の計画も参照しつつ内部で確認を行う。

向井委員：2-7 現況と課題について、現状と課題部分の「男女共同参画・女性に関する推進体制」がわからない。また、想定される取り組みの「男性・女性双方の」がわからない。

宮田委員：ジェンダーという表現が適切ではないか。横文字なのでわかりにくさはあるが、全ての性を包括したニュアンスは感じられる。

暁委員：男女共同について書かなければならないこと自体が時代遅れではないか。挙げなくていいということではないが、平等は推進するものではないと思う。

事務局：国においても女性活躍が謳われており、町としても十分に達成できているわけではないことから、項目を抜くことはできない。表現の調整で対応を行う。

大杉委員：「障がい者」と変更したようにあらゆる性を包括した言葉を設定すべきだと思う。

宮田委員：SDGsの欄にジェンダーという単語は出てきているので、「ジェンダー」で代替可能ではないか。また、具体策が書かれていないと感じた。

暁委員：「誰もが」のような表現はどうか。

事務局：表現について内部で検討を行う。

石丸委員：2-7 想定される取り組みに、性差分断意識解消のための取組を追加すべきだと思う。女性もズボンが履きたければ履くことを推奨するような啓発が必要かと思う。

大杉委員：「性差に左右されることのない」のような表現で表記できると考える。

向井委員：2-7 成果指標中の講座・セミナーの内容がわからない。

事務局：内容がわかるように名称の見直しを行う。

向井委員：2-8 成果指標「人権ポスター・人権標語の作成依頼」は、前回の5-3での議論で削除されていた。

また、成果指標「差別をなくす強化月間・上牧町民集会」は5-3 成果指標のヒューマンライツセミナーと同じではないか。5-3 人権教育と2-8 人権啓発・平和の内容に重複がある。

事務局：人権教育と2-8 人権啓発・平和について、現行計画策定時は別部署としてあり、別で取組を行っていた経緯がある。そのため、重複している項目があるのだろう。

向井委員：現在の担当課は同じであることから、5-3と2-8は統合してはどうか。

事務局：枠組みに関して改訂は行わないため、両項目で整合を図る。

暁委員：人権は広い意味であるが、ここに出てきている項目に偏りがあると感じる。第2節の各項すべてが人権に関する項目ではないか。あえて独立させる意味とは。

大杉委員：並列できないものが項として設定されている。

事務局：ご意見として参考にさせて頂く。

大杉委員：ヤングケアラーなど、表面的に見えない問題について考慮する必要があると思う。

事務局：ヤングケアラーについては何らかの形で追記を行う。現在、担当課で調査を行っている。

大杉委員：2-2の目指すべき姿が「いきいき」となっているが、「生き生き対策課」にあわせて「生き生き」と揃えてはどうか。

事務局：用語については、後日全体的に確認を行う。

中山委員長：2-2 成果指標の「不妊・不育症治療助成事業認知度 100%」の分母が不明である。また、地域医療の成果指標として、記載のもの以外にも設定できないか。

2-3 成果指標の「要介護認定率 20.7%」について、要介護認定率を減らす取組なのか、適切な人に認定を行うという意味合いかが分からない。

2-4 現行計画の施策の展開方向③および④を統合しているが、「地域ぐるみの子育て支援」という項の中に要保護児童に関する項目は入りうるのか疑問である。児童に対する深刻な社会問題は近年次々と発生しているため、子どもをめぐる深刻な状況について考えられるような項目を設けるべきである。2-5 現行計画の取り組み①を③に統合しているが、本来は③の前に①があるべきではないか。見方によっては自立が重視され、福祉の充実が軽んじられていると感じる。内容も現行計画に比べ自立が重んじられているように思う。

今回議論した部分に入るかはわからないが、外国人・外国籍の方についての対策が必要かと思う。

鶴谷副委員長：2-4 子育て支援について、「出会い・結婚応援事業」に関する成果指標はすでにあるが、マリッジサポーターの養成をきめ細かに行うなど制度推進への取組を行い、成果指標としたほうがよいと考える。

こども未来課にヒアリングを行った際、母子健康手帳のお渡しが大切なプロセスとなると聞いた。まずは対応職員が必ず窓口にいることが大事ではと思う。数値目標を作ることも効果的かと思う。

成果指標に「母子健康手帳アプリの登録数」とある。逆算して計算した結果かと思うが、算出根拠を示してほしい。

総じて、こども未来課の関わる施策は充実させることが望ましいと考える。

3. その他

事務局： 意見シートの記入について
次回審議会について（11月月末を予定）

4. 閉会